

国際ロータリー第2560地区 2010～2011年度



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



浄興寺：上越市

親鸞聖人が、浄土真宗を開いたことに由来する名刹。  
本堂は国指定文化財。平成16年に大修理を終え、往時の姿が蘇りました。

## CONTENTS

国際ロータリー第2560地区 2010～2011年度「ガバナー月信」2010年8月1日発行

ガバナーメッセージ	1
第101回国際ロータリー年次大会報告	3
危機管理委員会報告	4
植木年度感謝の集い	5
糸魚川中央RC30周年式典	6
豊栄RC40周年式典	7
地区会員維持増強セミナーのご案内	8
新会員の紹介	9

### 2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ



ガバナー 東山昕也

事務局：〒943-0834  
新潟県上越市西城町2丁目10-25  
大島ビル203号





国際ロータリー第 2560 地区  
2010-11 年度ガバナー  
東山 昶也

## 「会員増強月間に寄せて」

### —クラブの魅力づくり—

新年度に入り1ヶ月が過ぎました。57クラブの会長、幹事の皆さん 2010-11 年度の活動方針に基づいた目標達成に向けてクラブ運営も軌道に乗ったことと思います。8月の会員増強月間にちなんで第 2560 地区の会員の皆様にあらためて会員増強並びに退会防止による活発な奉仕活動の実行をお願いします。

ロータリーは 105 年を越える歴史を持ち、世界 168 カ国、会員 120 万人にまで発展したロータリーが、ここ

10年会員数が頭打ちの状態です。特に日本の会員数は、1996年13万超が2010年4月は91,895人 14年連続の減少で計 39,581名の減であり、一向に減少に歯止めがかかりません。私達の第2560地区では、一時期を除いて会員数が毎年減少している事実を知っておりますが、2001年6月末の2,475名が2009年6月末には、2,087名になり388名の減少です。

**会員の減少**には、さまざまな理由、事情があることは承知しておりますが何とかストップをかけないと私達の活動や奉仕の充実度、親睦にも悪影響があらわれます。「ロータリーは曲がり角にきている」この言葉は毎年聞かれるフレーズだと思います。その年度毎に新しい課題が生まれ、またいろいろな問題点が浮上しております。それは会員の減少、財団への意識の低下、社会の要求に対するロータリー活動の内容の在るべき姿はなど、挙げてゆけばキリがありませんが、「ロータリーとは何なのか。自分たちの立っているロータリーの奉仕の理論と実践はどのようなものなのか」「それに対してどう対応しているのか」という基本的な思考が、世界のロータリアンに希薄になってきていること、それがロータリーの危機感に結びついているのではないのでしょうか。

もう一度、「ロータリーの増強とは何でしょうか」深く掘り下げて究明する必要があります。職業分類の検討や、新会員のアフターサービス、情報提供と教育をしなければ退会者が増え、ビジネス社会における客離れと同じです。情報委員や先輩会員が積極的に暖かくフォローし、楽しく親しみやすい研修の場をもうける必要があります。

**会員を増やす**ことは、その組織の体質を強化し、財政基盤を確立し、更には充実した奉仕活動も可能にします。どんな組織でも常に新しい血を注入することが大切であります。単年度的発想では長期低薄のスパイラルから抜け出すのは困難です。思い切って発想を変えてクラブが5年後、10年後も活力が溢れるクラブであり続けるため長期計画の立案が重要な柱であるとの認識を持ちたい

ものです。

**ロータリーの最大の魅力**は、色々な職業の異なる仲間との異業種交流で多様性を共有できることでもあります。皆様には出逢い、経験、感動と異業種との交流を通じて豊かな人間性を養い、自己啓発を促す例会に出席することによって「友情の絆」を深め、それぞれの職業レベルのアップから社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕につながり、健康で住み良い地域づくりに育むことができるのであります。

ロータリーの例会や親睦活動は、思いやりに満ちた雰囲気を作ることで、会員の職業に元気に奮い起こすコミュニケーションの場になり、ロータリアンの心を癒す潤いと安らぎの空間と時間にしなければなりません。新しく入会した会員を優しく包み込み。疎外感を感じさせない居心地の良い、充実したクラブ奉仕をすることによって会員の退会に至らず、新しい会員の入会希望が増えると思います。

クラブの強み弱み、長所短所を見直しロータリーの誇りある精神を会員同士確認しあい、例会を重視し地域社会に貢献し、魅力あるクラブをつくることが志の高いロータリアンを育てることになり、会員増強に最も効果的と確信します。

1年間はあっという間に過ぎます。終わった後に自分が何ができたかを反省する日はすぐやってきます。一日一日を大切に皆さんのやるべき事は言葉ではなく、行動によって人々を導きます。

8月は会員増強月間ですが、毎日が増強月間と思えばクラブ会長を中心に、中長期計画を立てて頂きクラブ運営やクラブ活性化の為に、目標達成に努力して頂きたいと思えます。

2010～2011 年度

国際ロータリー第 2560 地区

## 地区大会 ご案内

---

---

**2010.11/20 (土) ～11/21(日) 開催**

＝1 日目＝ 【 デュオ・セレッソ 】

12:00 会長 ・ 幹事 ・ ロータリー財団 ・ 米山記念奨学委員長会議

セミナー( ①ロータリー財団地域セミナー ②米山記念奨学セミナー )

17:00 RI 会長代理 小沢一彦様をお迎えして 歓迎晩餐会

＝2 日目＝ 【 リージョンプラザ上越 】

8:30 本会議

13:00 **記念講演 「 アジア大交流時代の幕開けと日本 」**

国際政治経済学者

**講師**

国際未来科学研究所所長

**浜田 和幸 氏**

16:00 親睦交流会

---

---

【 2010 年 10 月 14 日 】 【 松ヶ峰カントリー倶楽部 】 記念ゴルフ大会

## 第 101 回 国際ロータリー一年次大会報告



地区オン・ツー・モントリオール委員長  
品田 道雄  
(柏崎東RC)

ロータリーが米国外で初めて結成され、国際的な組織への発展の第1歩となった地カナダ、そのカナダのロータリー100周年を祝し、第101回国際ロータリー一年次大会が6月20日～23日カナダ、ケベック州モントリオールにて開催されました。

当2560地区からは、植木ガバナー令夫人を団長とし、宮田地区幹事夫妻他新潟RC、長岡RC、柏崎3RCより16名が開会式に参加してまいりました。

開会本会議は、ベルセンターアリーナにて行われ、インターナショナル・ポリオ・プラス委員長でモントリオール国際大会委員長のロバートS. スコット氏の「生きる喜び」を共に分かち合いましょうとの歓迎の挨拶の後、RI副会長エリックE. ラコステ・アダムソン氏の進行により約160ヶ国の国旗入場が行われた(自国国旗入場で歓喜、拍手)。続いてRI会長エイドのトニー・デ・セント・ダルマス氏によるRI会長の紹介、ジョン・ケニーRI会長(スコットランド)により「ロータリーの未来はあなたの手の中に」をテーマに基調講演、「ケルティック・サンダー」の余興へと進み、約2万人(大会登録者目標17,000人を大きく上回る数)の参加者の歓喜の中の幕開けとなり、世界がひとつになった空気に大変感動させられました。

植木年度のバッチ、出雲崎の紙風船(酒井地区クラブ奉仕委員長の提供)を会場にて他国ロータリアンに贈ったり、バナー交換、記念写真など楽しく過ごしてまいりました。

ナイアガラフォールズに魅了され、ケベックシティにてフランス文化の雰囲気に触れ、モントリオール国際大会に感動させられ13時間の時差、タイトなスケジュールではありましたが、16名の参加者全員楽しく無事帰国いたしました。感謝し報告させていただきます。



## 危機管理委員会報告

2010～2011 年度 地区幹事 羽深 耕時  
(高田 R C)

国際ロータリー第 2560 地区 2010～2011 年度＜新世代危機管理委員会＞は 6 月 19 (土) に新潟市ホテルオークラの 4F 白鳥の間にて開催されました。

この委員会の主旨は国際ロータリーが提唱する青少年交換プログラムに関係する全ての新世代の安全と健全な生活を守り交通災害、自然災害からの保護と身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメントの防止は勿論のこと、起こりうる新世代危機に対処することが、ロータリーの責務との認識を深め、3 年前から＜危機管理委員会＞が設置されました。

委員会の構成メンバーは委員長には渡辺パストガバナーからご就任頂き、ガバナーエレクト、ガバナー補佐、国際奉仕委員長、新世代奉仕委員長、ライラ委員長、インターアクト委員長、ロータリー以外の有識者、弁護士、医師、女性代表、3 名を含め組織されております。

この委員会は東山ガバナー年度において、第 2560 地区ロータリーが実施する、新世代奉仕プログラムの事業に青少年の安全と健全な生活等が脅かされるような事態が発生、若しくは恐れが生じた場合に開催される委員会です。

当日の委員会は、出席者全員で委員会の目的を確認して渡辺危機管理委員長より委員会の招集が無いことが望ましいと締め括りのご挨拶で閉会となりました。



6月26日(土)植木ガバナーの「感謝の夕べ」が、柏崎市 岬館において行われました。司会の宮田幹事のユーモアのある話しぶりに、会は最初より盛り上がって行きました。

植木ガバナーより1年間お世話になりましたと云うご挨拶とお礼の言葉があり、記念品を参加者一人一人に手渡しをされました。そして、馬場直前ガバナーより、まだこれからもPGとして頑張ってもら

わなくてはと云うお話の後、開宴になりました。宴の途中、5人のAGさん方より「植木年度を振り返ってみて」という題でお話を戴きました。

これ以後、皆様方は席を立たれそれぞれの所に行き、交流の輪を広げお話はつきないようでありました。

サプライズとして、参加者の方々の会費より少しずつ出して戴き、植木ガバナーへクリスタルの記念楯を柴野俊子氏より差し上げてもらい、高橋登氏より花束を和子夫人に渡して戴きました。

最後に東山ガバナーエレクトより中締めのご挨拶を頂「感謝の夕べ」の終了となりました。

(事務局 佐藤)



# 糸魚川中央ロータリークラブ創立 30 周年記念大会

糸魚川中央ロータリークラブ創立 30 周年記念実行委員会

副委員長 安藤隆夫

(糸魚川中央 R C)



クラブは今年、節目となる創立 30 周年を迎えました。

6 月 6 日初夏のさわやかな風の中、周年記念大会が開催されました。記念式典には米田市長をはじめ多数の来賓の方々、第 2560 地区植木ガバナーとパストガバナーの皆様と大勢の同地区ロータリアンを合わせ 200 名近くの

方が集まりました。続く記念公演は新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバー 5 名と地元の歌手による弦楽四重奏とホルン演奏会・テノール独唱が披露され、意外な場所での本格的クラシック演奏に皆様大変驚かれたようでした。格調ある式典と感動の演奏の後、懇親会では地元の食材を使うことにこだわったおいしい料理を提供しました。なかでも糸魚川を代表する南蛮エビ使ったおさしみと日本ワインの先駆けである岩の原ワインが会に華を添えました。皆様の和やかな懇親も名残惜しむなか、記念大会は盛会裏に終了することができました。

クラブは 30 年前に糸魚川ロータリークラブの創立 20 周年記念事業として創設されました。その後好景気の中会員は 60 名を越すほど大きくなりましたが、景気の動向に伴い徐々に会員数は減り現在 40 名ほどで活動しています。量より質をモットーに、通年事業として交通少年団の運営や野球大会の開催など活発に地域への活動をしています。また、2 年後に向かえる I M と RYLA 研修主催に向けて準備を進めております。

糸魚川は昨年世界ジオパークに認定されました。フォッサマグナの北端にあり、その稀有な地形や文化財など 24 か所をジオサイトと指定しています。海拔 0m から標高 3000m を超える北アルプスまで、壮大な自然の営みをうかがい知ることができます。

これからもジオパーク振興を含め地域の発展に貢献し、世界ロータリークラブの一員としての活動を続け、さらに 40 周年 50 周年をめざしたいと願っています。



## 豊栄ロータリークラブ 40 周年記念式典を終えて

豊栄ロータリークラブ 40 周年記念実行委員会  
委員長 長井 桂一郎  
(豊栄 R C)



旧豊栄市には周年式典などを行なう  
適当な会場がなかったので当クラブで  
も、できれば地元でやりたいのだがと  
思いながらも結局月岡温泉のホテルを  
使っていました。今回の 40 周年も会  
場でずいぶんと悩みました。新潟市合  
併後の今年 3 月に念願の文化会館が完

成することになっていたのが当初考えていた平成 22 年 5 月に新しい文化会館で式典を開催できるものと思っていたのが、6 月 5 日が正式オープン、その後は市の行事を優先させてもらうとの説明で一時式典の会場と日取りが宙に浮いた状態になりました。もう 1 つは 150 人からの祝賀会の会場問題です。メンバーが経営する地元割烹料亭の大広間でやれるだろうか、十分なおもてなしができるだろうか、式典会場と祝賀会会場で大きな壁にぶつかりました。今まで通り月岡でやろうか一時メンバーの意識は地元へのこだわりよりも確実性へと変化しかけてきましたが、どうしても地元でのこだわりを捨てきれませんでした。会員の意識の中には豊栄ロータリークラブは 40 年間地元と共に有り続けてきたしこれからも地元と共に歩まなければ存在できないとの強い思いがあったのだと思います。多少の困難があっても今回の 40 周年はすべて地元でやろう、全員が決断しました。式典会場は市と交渉の末、日程を 6 月 12 日（土）で北区文化会館を押さえ、祝賀会会場はメンバーの割烹料亭と決定しました。

すべて、自前で行なう作業が始まりました。何とか成るさ・・・と腹をくくったものの実行委員長である私の段取の悪さに当日の開会までバタバタのしどろしどろでしたが結果はメンバーの働きに救われ、他クラブの多くのロータリアンの友情のお陰で無事に 40 周年記念式典を終了する事ができました。



この紙面を借りて熱くお礼申し上げます。23 人で迎えた 40 周年は私達に勇気と課題をくれました。小人数でも 1 つに固まれば大きな力になれる。でも将来的にみれば今のクラブで大丈夫か。40 周年を契機にもう一度ロータリーを勉強しようという機運が出てきました。豊栄ロータリークラブにとって大きなチャンスだと思います。

## 地区会員維持増強セミナーご案内 (同時開催 新会員セミナー)

「今、ロータリーが衰退！何故？魅力に陰りか！！」

2010～2011年度 クラブ奉仕、広報委員長 大谷光夫  
(高田RC)

EU・北米・日本のロータリークラブが衰退しています。特に日本は衰退に歯止めがかかっていません。第2560地区も例外ではありません。新会員の増強はなされていますが、退会者はそれを上回っています。原因は何？経済的なこと？違います！ロータリーの会員というステータスの喪失から、会員一人ひとりのロータリーへの関心・愛情・熱意が薄れ、規律やマナーが低下し、自らの組織に自信と誇りを失いかけていることが最大の原因です。

ロータリーの永遠の存続のため地区委員会は会員減少に歯止めをかけるべく退会防止を第一に考えたセミナーを開催いたします。

今回はロータリーコーディネーター(RC)の桑原茂様(RC・PDG・塩釜RC所属)からわざわざご来越の上、ご指導、ご助言をいただく予定です。

詳細につきましては各RCの会長各位宛にすでにご案内を発送してあります。

各RCのクラブ奉仕委員長又は情報委員長、会員維持増強関連委員長、会員選考委員長、新会員(入会3年未満の方)は必ず出席をお願いいたします。

<b>開催日時</b>	<b>2010年8月28日(土)</b> <b>10:30 登録 ~ 15:40迄</b>
<b>開催場所</b>	<b>上越市仲町「やすね」</b>

## 地区の予定 【 8月 会員増強および拡大月間 】

7日(土)	第3回地区運営会議(東山年度)	宇喜世(高田)
	第2回地区諮問委員会(東山年度)	宇喜世(高田)
21日(土)	2011-2012年度ロータリー財団奨学生選考会	高陽荘(高田)
	第1回ロータリー財団セミナー開催(東山年度)	高陽荘(高田)
28日(土)	米山奨学生親睦交流会	阿賀野川ライン下り 豪農の館
	(財)ロータリー米山記念奨学会評議員会	グランドプリンスホテル
	クラブ奉仕委員会 地区会員維持増強セミナー	やすね(高田)

## 新入会員紹介 (敬称略)



長谷川 敬  
加茂ロータリークラブ  
6月17日入会  
ニイガタ重量(株)



平松 実  
豊栄ロータリークラブ  
7月入会  
(有)平松測量事務所



久住 勲夫  
分水ロータリークラブ  
7月6日入会  
久住勲夫税理士事務所



涌井 隆  
長岡東ロータリークラブ  
7月7日入会  
(株)ワールド・トリップ



宮村 秀昭  
中条ロータリークラブ  
7月7日入会  
(有)魚太



青柳 修次  
燕ロータリークラブ  
7月8日入会  
(株)青芳製作所



中村 光一  
三条ロータリークラブ  
7月7日入会  
東北電力(株)  
新潟県央営業所



高橋 尚樹  
三条ロータリークラブ  
7月7日入会  
(株)第四銀行三条支店



渡辺 良一  
三条ロータリークラブ  
7月14日入会  
(有)リネス

国際ロータリー第 2560 地区 東山ガバナー事務所

〒943-0834 新潟県上越市西城町 2 丁目 10-25 大島ビル 203

TEL 025-527-3110 FAX 025-527-3118

E-mail [higashiyama@rid2560niigata.jp](mailto:higashiyama@rid2560niigata.jp)